

【勉強会の目的／学習内容・方法】：

賀偉先生は、漢方も含めた他の治療法と比較して、「針灸医学」に最も“特徴的”、且つ“重要”な要素は「経穴」と「経絡」の存在であると考えられている。

この中国伝統針灸において最も特徴的で、且つ重要な「経穴」と「経絡」についての理解の幅と知識を深め、「経穴」の使用（選穴）、並びに応用範囲の幅を広げる。

〈座学〉： 主として《賀普仁針灸伝心録》（≡《普仁明堂・示三通》）中の第十三章「針方明理」（＝各論部分／下記添付）をテキストとして用い、各「病症」に対する「選穴、配穴処方」を学びながら、「選穴、配穴」に必要な「経絡」、「経穴」の知識を学んでゆく。

〈実技・応用〉： 座学の後、その日の講義内容で出て来た「経穴（の内の主要な幾つか）」について、「取穴方法」や「刺針方法」について「実技練習」を行い、且つ、取り上げた経穴の“その他の主治”や“応用範囲”など学び、一つひとつの穴についての知識の幅を広げる。

※「三通法」に関する“概論”的知識については、《針灸三通法》（東洋学術出版社）、《痛みの針灸治療》（静風社）などの書籍を読んで参加者各自で自習しておく。

※ 中医学の基礎学習は終えている方を対象とします。

【開催日時・場所】：

〈日時〉 毎月、第三日曜日、19時30分～21時00分頃まで
（前半に座学を行い、後半に質疑応答や実技練習を行う）

〈場所〉 精誠堂・飯田橋院（千代田区富士見2-2-3 ドーム飯田橋1F）

〈開始時期〉 第一回目は2020年3月22日（日）19時30分より

〈参加費用〉 5,000円／一回

〈募集人数〉 10人まで

〈応募締切〉 定員になり次第

〈応募方法〉 E-mail：ssd.i.acp@gmail.com

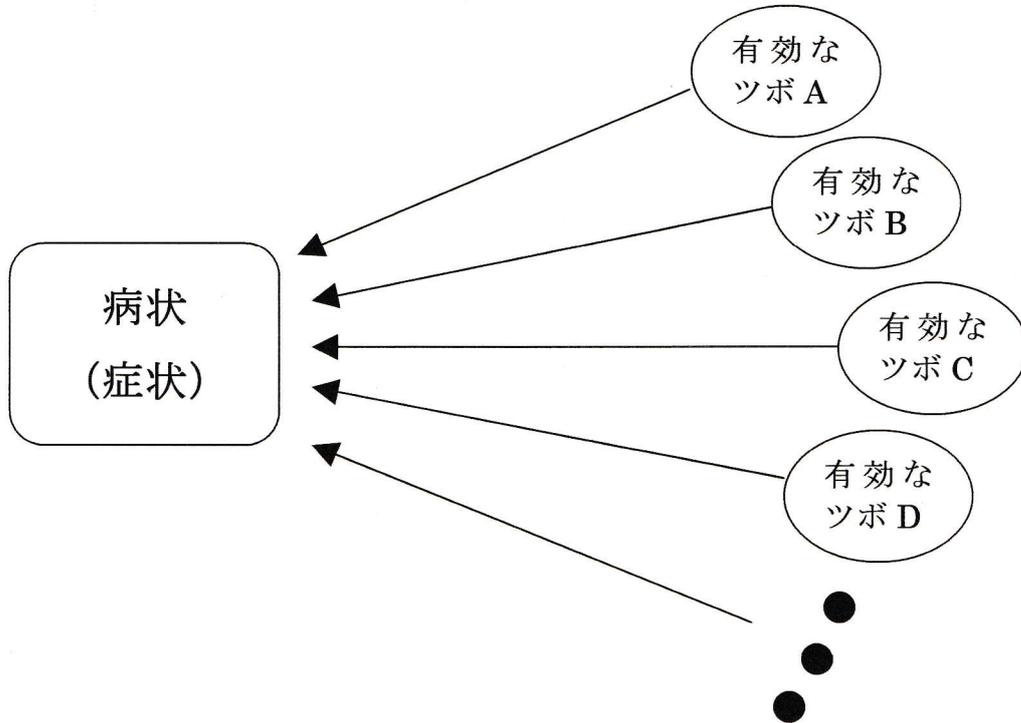
（氏名、住所、電話、メールアドレス、出身校、卒業年度を明記）

【学習の目的／修得目標】：

1) 病状（もしくは症状）の観点から；

一つの“病状（もしくは症状）”に対して

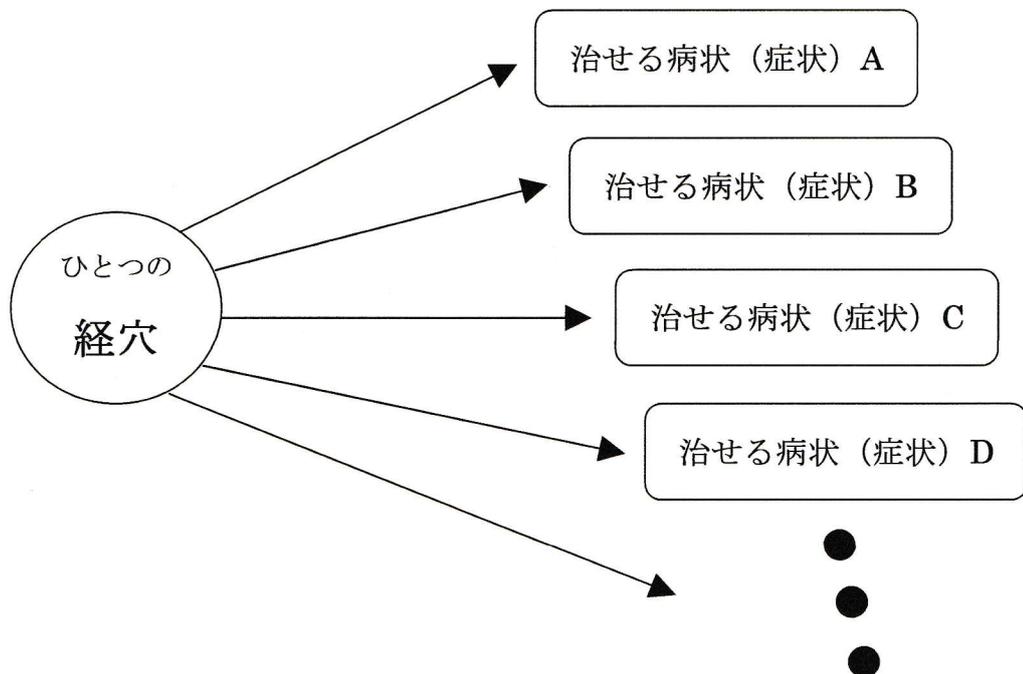
有効、もしくは応用可能な経穴が出来るだけ多く選択できる様にし、
一つの“症状”に対する施術の幅と応用範囲を広げる。



2) 経穴の観点から；

一つひとつの経穴の、治すことの出来る症状（主治症）、

応用できる“範囲”についての知識を広げ、施術の幅を広げる。



● 《賀普仁針灸伝心録》「針灸明理」目次（全78症）

※毎回、下記項目の各節・各病証をローテーションしながら、その中の病症を一つ、もしくは二つずつ順に取り上げて学ぶ。

※右記の () 内の赤字は進行順の例（取り上げる項目は状況に応じて臨機応変に行う）。

第一節 内科病証

- 一、退熱方 (2)
- 二、止咳方 (8)
- 三、定喘方 (14)
- 四、止嘔方 (20)
- 五、胃痛方
- 六、腹痛方
- 七、止瀉方
- 八、通便方
- 九、脇痛方
- 十、定癩方
- 十一、安眠方
- 十二、面癱法
- 十三、胸痹方
- 十四、消渴方
- 十五、顛痛方 (偏頭痛)
- 十六、面痛方
- 十七、眩暈方
- 十八、精神封
- 十九、消腫方
- 二十、解鬱方
- 二十一、搖頭方
- 二十二、痿証方
- 二十三、虚勞方
- 二十四、麻木方
- 二十五、中風方
- 二十六、震顛麻痺方
- 二十七、減肥方

第二節 外科病証

- 一、癭氣方 (3)
- 二、提肛方 (9)
- 三、痔瘡方 (15)
- 四、膠瘤方 (21)
- 五、利胆方

- 六、通淋方
- 附：泌尿器系結石方
- 七、乳癖方
- 八、陽痿方
- 九、遺精方
- 十、下肢静脈曲張方

第三節 骨科病証

- 一、頸痛方 (4)
- 二、肩痛方 (10)
- 三、肘勞方 (16)
- 四、腰痛方 (22)
- 五、腿痛方
- 六、膝痛方
- 七、跟痛 (踵痛方)
- 八、扭傷方 (捻挫方)

第四節 婦人科小児科証

- 一、痛經方 (5)
- 二、經遲方 (11)
- 三、崩漏方 (17)
- 四、止帶方 (23)
- 五、促孕方
- 六、更年期
- 七、通乳方
- 八、正胎方
- 九、化積方
- 十、固洩方
- 十一、夜啼方
- 十二、小兒弱智方
- 十三、遺尿方
- 十四、多動症方

第五節 五官科病証

- 一、暴盲方 (6)
- 二、目赤方 (12)

- 三、斜視方 (18)
- 四、提瞼方 (24)
- 五、耳病方
- 六、頷痛方
- 七、鼻淵方
- 八、口瘡方
- 九、牙痛 (齒痛) 方
- 十、咽痛方
- 十一、失音方

第六節 皮膚科病証

- 一、白癩方 (7)
- 二、蛇丹方 (13)
- 三、濕疹方 (19)
- 四、癩疹方 (25)
- 五、瘙疹方
- 六、瘰癧方
- 七、斑禿方
- 八、銀屑病方

附：針灸治療 (1)